



お客様の「いきいき」のために

お客様とともに環境を守ります

宝酒造では、環境に配慮した商品開発をすすめるとともに、お客様と協力して容器の4R(リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいます。

■エコプロダクツの開発

宝酒造では、容器の素材選びなども含め、エコプロダクツ(環境に配慮した商品)の開発をすすめています。特に中身が消費された後の容器は廃棄物となるため、リフューズ(発生回避)・リデュース(減量化)・リユース(再使用)・リサイクル(再資源化)の4Rの取り組みをすすめています。

■宝酒造の主なエコプロダクツ

リフューズ 「焼酎のはかり売り」で
資源の節約や廃棄物の削減を実現

「焼酎のはかり売り」は新たな容器を使用せずに中身だけ販売する「リフューズ」の実践です。お客様は家庭にあるペットボトルなど空容器を販売店に持参し、宝酒造は1kgや200gの専用タンクで焼酎を販売店に工場から直送します。販売店ではお客様が持参した空容器を洗浄し、店頭でその容器にお客様が必要な分だけ詰めて販売しています。はかり売りは酒類の伝統的な販売方法であり、そのシステムを現代風にアレンジしています。お客様にとっては容器代が発生しない分、安く商品を購入できるほか、必要な分量だけ買うことができ、また空容器が家にたまらないなどのメリットがあります。はかり売りは資源を節約するために人手を使う販売方法であり、消費者、販売店、メーカーの信頼関係をベースにお互いが協働することで資源の節約、廃棄物の削減を実現しています。現在は全国で約220店舗にご協力いただき、1998年の開始以来2007年3月までに2.7億ペットボトルで約390万本、段ボール約65万枚節約することができました。

HP 1: はかり売り実施店舗一覧



リデュース 容器の軽量化で
環境負荷を低減

容器の軽量化は、製造時の資源消費や商品輸送に伴う燃料使用の削減などの環境負荷低減効果が期待できます。このため、宝酒造では、種々の容器の軽量化を進めています。2002年度に焼酎エコペット、2003年度に宝焼酎「純」720mlリターナブルびんを軽量化しました。さらに2004年には、「タカラ有機本みりん」に従来のものに比べ約3割、約100gも軽い「超軽量ガラスびん」を採用することで、エコマーク*を取得しました。この超軽量びんの採用により、エネルギー使用量が3.5%、CO₂の排出量が6.2%削減されます。「タカラ有機本みりん」はこのほかにも、非木材紙のラベルを採用、さらに使用後にキャップのツマミを引っ張ることで、容易にボトル本体とキャップ部分を分離でき別々に捨てることのできる「はずせるキャップ」を採用するなど、環境面の配慮に取り組んでいます。超軽量びんはタカラ有機本料理清酒、本格米焼酎仕込「寶」「京みりん」にも採用しています。



HP J: 有機本みりん環境データ



*エコマーク
環境保全に役立つと認められた商品に付けることができる
(財)日本環境協会の認定マーク

リユース 容器の再使用で
資源の節約や廃棄物を削減

一升びんをはじめとするリターナブル容器の使用は、資源の節約や廃棄物の削減に有効な手段です。宝酒造はこの一升びんで国内有数の使用量を誇っています。残念ながら消費スタイルの変化などの理由から清酒や焼酎などで使用されている一升びんは減少の一途をたどっています。そこで宝酒造では、1994年から主力商品の宝焼酎「純」、宝焼酎「純」レジェンド720mlびんをリターナブルびんに変更したほか、空きびんを割れず傷つけずに運搬するために不可欠なプラスチックケース(通称P箱)のレンタル会社や洗びん会社設立に協力し、リターナブルシステムのインフラ整備にも努めてきました。また、2003年から業界団体で普及を推進している「300ml統一リターナブルびん」を採用した特選松竹梅<特別純米>300mlを販売しています。



HP 1: 720mlリターナブルびんの推移

リサイクル 色つきびんのリサイクルに
エコロジーボトルを採用

ワインや輸入焼酎などに多く見られる色つきガラスびん(透明や茶色を除く)は、ガラス原料へのリサイクルが容易ではありません。宝酒造では、この問題への対策として、さまざまな色のカレット(ガラスびんを砕いたもの)を90%以上使用した「エコロジーボトル」を、2000年に業界で初めて清酒の容器として採用しました。



リサイクル 分別作業が容易な
エコペットを開発

宝酒造は、1998年にリサイクルの効率化のために策定された「指定ペットボトル自主設計ガイドライン」に酒類業界で初めて完全準拠したペットボトルを開発しました。ラベルをはがしやすく改良したり、リサイクルの妨げになっていた取っ手をなくすなど、リサイクル性を向上させました。また、本みりんや料理用清酒には「はずせるキャップ」を採用し、お客様の分別作業を容易にしました。



2006年度の環境対応事例

対象商品	環境配慮の内容	開始時期
豪快<本醸造>、上撰・佳撰松竹梅「焙炒造り」	1.8ℓびん中栓の単一素材(オールプラスチック)化	11月~
タカラキャップ	シュリンクフィルム*1搬入形態変更(個装段ボールからコンテナ搬入へ)	9月~
紙バック	シュリンクフィルム*1の厚さを薄いものに変更	9月~
焼酎	パロンボックス*2軽量化	1月~

*1 シュリンクフィルム: 汚れの防止などのためにかけられている熱で収縮する外装フィルム

*2 パロンボックス: 段ボール箱の中に袋状のプラスチックフィルム容器が入った業務用液体容器

HP 2: 環境に配慮した商品開発のための指針

HP 3: グリーン調達・4Rガイドライン